

地元建友会が迅速対応

漁協関係者から感謝の声

7月末から8月初め、赤潮監視や除去対策、死魚の埋設処分などに追われ、その発生した赤潮によって、地元の養殖ブリ約12万匹が被害を受けた長島町。13日には終息宣言したものの、被害額が約20億円に達し、過去最悪の事態となった。

特に、東町漁業協同組合管内の被害は甚大で、各養殖業者は赤潮発生以降、赤潮監視や除去対策、死魚の埋設処分などに追われ、その発生した赤潮によって、地元の養殖ブリ約12万匹が被害を受けた長島町。13日には終息宣言したものの、被害額が約20億円に達し、過去最悪の事態となった。

長島町の赤潮被害

発生以降、赤潮監視や除去対策、死魚の埋設処分などに追われ、その発生した赤潮によって、地元の養殖ブリ約12万匹が被害を受けた長島町。13日には終息宣言したものの、被害額が約20億円に達し、過去最悪の事態となった。

特に、東町漁業協同組合管内の被害は甚大で、各養殖業者は赤潮発生以降、赤潮監視や除去対策、死魚の埋設処分などに追われ、その発生した赤潮によって、地元の養殖ブリ約12万匹が被害を受けた長島町。13日には終息宣言したものの、被害額が約20億円に達し、過去最悪の事態となった。



作業は、いすから陸揚げされた死魚をコンテナに移し、ダンブに積み込んで埋設地に運搬。町の許可を受け、埋設地ではバックホウで運搬された死魚を処分した。

道路防災に関する技術講習会

社会基盤の役割認識

県建設技術センター
(徳永康一理事長)は26日、鹿児島市の県市町村自治会館で「道路防災に関する技術講習会」を開催した。参加者は約100名に上った。



道路維持管理の重要性などを学ぶ。県建設技術センターで開かれた講習会。

設業者をはじめ、県や各自治体の職員ら約600人が参加し、道路維持管理の重要性などを学んだ。

初めに、県土木部の中野義一道路維持課長が「これから秋口にかけて台風による災害が懸念される。被害を未然に防止するため、法面の点検、パトリールの実施など危機管理意識を高めてほしい。また、連携を密にしたライフラインの確保など、的確な対応に努めてほしい」と呼びかけ、引き続き、県土木部道路維持課の塚田浩二課長が「道路維持管理の重要性を再認識してほしい」と述べた。

県建設技術センターは26日、鹿児島市の県市町村自治会館で「道路防災に関する技術講習会」を開催した。参加者は約100名に上った。

初めに、県土木部の中野義一道路維持課長が「これから秋口にかけて台風による災害が懸念される。被害を未然に防止するため、法面の点検、パトリールの実施など危機管理意識を高めてほしい。また、連携を密にしたライフラインの確保など、的確な対応に努めてほしい」と呼びかけ、引き続き、県土木部道路維持課の塚田浩二課長が「道路維持管理の重要性を再認識してほしい」と述べた。

行政」をテーマに、災害に強い道路ネットワークの形成や道路防災総点検に基づく防災対策の取り組みなどについて解説した。

また、鹿児島大学工学部海洋土木工学科の北村良介教授が「福原による斜面崩壊の予知・防災について」をテーマに、災害に強い道路ネットワークの形成や道路防災総点検に基づく防災対策の取り組みなどについて解説した。

建設業者らへ長島町の現場で

探石業務管理者技術講習会

最新動向の注視を

県と県砕石協同組合連合会(福永重男会長)は26日、鹿児島市の県歴史資料センターで、第21年度(第28回)探石業務管理者技術講習会を開いた。

県内各地から約80人が参加し、最新の技術動向を踏まえ、安全管理対策などについて理解を深めた。

冒頭、県政課の車田伸介課長が「今後、台風シーズンを迎えるが、現場にできる限り、今後も、勉強会などを通じて環境保全活動の普及啓発に努めていきたい」と話した。



車田伸介課長が「今後、台風シーズンを迎えるが、現場にできる限り、今後も、勉強会などを通じて環境保全活動の普及啓発に努めていきたい」と話した。

九州サミットIN鹿児島

【未来へ～創造・共生・継続～】



ネットワークの構築を呼び掛ける久木山部長＝鹿児島市のホテルで

九州サミットIN鹿児島。県と県砕石協同組合連合会(福永重男会長)は26日、鹿児島市の県歴史資料センターで、第21年度(第28回)探石業務管理者技術講習会を開いた。

県内各地から約80人が参加し、最新の技術動向を踏まえ、安全管理対策などについて理解を深めた。

施工計画作成セミナー

抽出事項の反映を

(株)インターウエーブ(倉橋利一社長)主催の「施工計画(提案書)作成セミナー」が26日、鹿児島市のシェイプドガーデンパレスで開かれた。関係者約20人が受講し、施工計画の重要性を学んだ。



技術経路の作成手順などを学ぶ。施工計画の重要性を学んだ。

久木山部長は、「われわれの業界は、さまざまな環境問題に深く関わる。この会合が環境に対する意識向上に役立つことを期待している」と述べた。

久木山部長は、「われわれの業界は、さまざまな環境問題に深く関わる。この会合が環境に対する意識向上に役立つことを期待している」と述べた。

「採石計画の目的と業務管理者の職務」について学んだ講習会。県砕石協同組合連合会(福永重男会長)は26日、鹿児島市の県歴史資料センターで、第21年度(第28回)探石業務管理者技術講習会を開いた。

県内各地から約80人が参加し、最新の技術動向を踏まえ、安全管理対策などについて理解を深めた。